

広報させぼ 情報カレンダー 05.12月



日	月	火	水	木	金	土
12月は大気汚染防止推進・地球温暖化防止月間 毎月第1水曜 中小企業金融公庫出張相談 (13時~15時、佐世保商工会議所) 毎月第2金曜 発明相談 (10時~15時30分、市役所商工労働課)				1 世界エイズデー	2	3 長崎県水産加工まつりイン佐世保~4日 動物獣舎探検隊
4 人権週間~10日 プロ野球マスターズリーグ	5	6	7 出前保育「みんなよっぴいでー!」 調理講習会 中小企業金融公庫出張相談	8	9 発明相談	10
11 心のバリアフリーコンサート みんなの技能のひろば	12 特設人権相談所	13	14	15 国民健康保険の夜間相談	16	17 チャレンジ連続講座「何かを始めたあなたのために」 動物獣舎探検隊
18 吉井、世知原の石橋見学会	19	20 国民健康保険の夜間相談	21 市立総合病院の健康教室	22 島瀬美術センター「館所蔵品展」~1月15日	23 天皇誕生日 西海パールシーセンター「正月展」~1月22日	24
25 国民健康保険の日曜相談	26	27	28 官庁仕事納め	29	30	31 パールキーン大晦日サンセットクルーズ
1月上旬の主な行事予定 1/1 パールキーン初日の出クルーズ 1/4 官庁仕事始め 1/6 消防出初式 1/8 成人式典、バラの冬期管理講習会 1/9 自然観察エコスクール						

救急・火災
医療機関案内 ☎23-8199
火災情報 ☎0180-999-999

エイズ相談・性感感染症相談
専用相談電話 ☎0120-104-783
Eメール shc783@city.sasebo.lg.jp

教育相談
青少年教育センター ☎22-0077
(毎月第3日曜の13時~16時には、休日教育相談を受け付けています)

女性相談
スピカ ☎24-6180
(水曜と祝日を除く毎日、9時~16時)

消費生活相談
市消費生活センター ☎22-2591
(土・日曜、祝日、年末年始を除く毎日、8時30分~17時15分)

12月の健康テレホン
県保険医協会 ☎23-4300
3分間のテープで、祝日は前日の内容が流れます

月 大人の立ちくらみ
火 脚(下腿)の傷が治りにくい
水 おしゃぶりのよいところ、悪いところ
木 白内障の手術時期について
金 嫉妬妄想 **土、日** 増えている性感感染症
12月28日~1月4日 おならが多い

人のうごき
(11月1日現在)

総人口 248,450人 (+102)
男 116,949人 (+109)
女 131,501人 (-7)
世帯数 98,451世帯 (+82)

10月中のうごき

転入 733 転出 632
出生 182 死亡 181

見て、聞くさせぼ市政だより

テレビ 毎週土曜日放送(約5分間)
NBC(9時25分) NIB(11時25分)
NCC(11時40分) KTN(17時25分)

ラジオ
NBC 毎週日曜日 9時25分
FM長崎 毎週火曜日 9時05分

長崎新聞 毎月第2、4水曜日広告欄

こんにちは市長です。

相浦地区の大型商業施設建設計画

相浦地区の一面に大型商業施設の建設が計画されていることは、市民の皆さんもご存じでしょう。この問題については、既に市議会にも反対、賛成両方の請願や陳情が提出され、それぞれについて審査が継続されています。

建設計画予定地は、平成3年から9年まで、地権者と行政の合意により、「県営圃場整備事業」として農業を目的とするための基盤整備を約20億円の公費をかけて行った経緯があります。市内でも優良農地として位置付けられていて、本来は農業生産に活用されるべき農地ですから、他への転用は難しいというのが市の基本的な考え方です。

しかし一方では、後継者が減少して農業の維持が困難という声もあります。また、農業とは別に相浦周辺地区の発展に絶好のチャンスと考える人や、進出は中心市街地の衰退を招くから市の損失だと主張する人々などさまざまです。

市では、11月7日に有識者や関係者からなる公聴委員会を立ち上げご意見を聴くことになりました。併せて、パブリックコメントを広く募ります。冷静な意見の交換の中で市としての判断をしたいと思っています。

佐世保市長 光武 顕

歴史散歩 485
和馴崎の石塚 (椎木町)

沖田自衛隊入口バス停の北に当たる高台は、和馴崎と呼ばれる丘でした。将冠岳の尾根が大きく張り出した先端、字名で椎木田尾と言ひ、海岸まで大きく撓んでいた地形を物語っています。この岬は、寛文6(1666)年に現在の総合グラウンドを含む100ヘクタールの新田が生まれるまで、東の日野浦との間に突き出ていました。

その和馴崎の西側に、地元の人が「大墓さま」と呼ぶ石塚があります。かつての磯辺にあった石を組み合わせたもので、中央に「大乘妙典一字一石供養塔 椎木田尾下母ヶ浦村」と書かれた自然石碑が建てられています。年号はよく読めませんが、干支で“乙卯”の文字があり、江戸時代の干拓前だとすれば元和元(1615)年に当たります。非業の死を遂げた戦国時代の豪族



遠藤但馬守のたたりがあるとも語り伝えられ、また近くの字大名崎には姫様の墓という石塚があり、戦国争乱の戦死者の供養碑とも考えられます。

大名崎に近い清水谷に住む長老の池田重次さん(82歳)は「昔からの地名である字を知る人もすっかり少なくなりました。この一帯に昔からいたのは池田、福田、岩佐という姓の人たちで、平家の落人という言い伝えがあります。大墓さま付近は昔からの里道で、今住宅地になっている高台も40~50年前までは畑でした」と話されました。

干支の十干十二支の組み合わせは60通りになるので、人が生まれた干支に戻るのが還暦です。供養塔が新田完成後であるとすれば延宝3(1675)年が次の乙卯の年に当たり、このどちらかの年に両村の人が建てたのでしょうか。(筒井隆義)

